

山三留守家庭児童育成室運営業務委託事業者評価シート（令和6年度）

Ⅰ 育成室の概要

（１）児童数・教室数（令和7年3月1日時点）

児童数 66 人（うち配慮を要する児童 4 人）						教室数
内訳	1 年	2 年	3 年	4 年	5・6 年	2 教室
	21 人	23 人	18 人	4 人	0 人	

（２）受託事業者

社会福祉法人光聖会（契約期間：令和5年4月～令和10年3月）

他に受託している育成室（千里丘北育成室、青山台育成室、千二育成室）

Ⅱ 運営状況に対する評価

	評価項目・視点	評価点 (0～3)
1	児童との関わりについて ・指導員と児童との関係づくり、信頼関係構築など	2
2	保育内容について ・集団遊び等による自主性や社会性を培う取組など	3
3	運営体制について ・指導員の配置、知識・経験など	2
4	育成室環境について ・生活空間の確保、衛生環境など	2
5	おやつ提供について ・栄養バランスの配慮やアレルギー対応など	2
6	学習活動について ・宿題等の取組のためのスペース確保など	3
7	保護者・学校との連携について ・保護者や教職員との情報交換など	2
8	配慮を要する児童（障がいや有する児童）の保育について ・児童の発達段階に応じた適切な人員配置など	2

Ⅲ 総合評価（所見）

- ①全体として、仕様書の内容を適正に履行し、事業目的を踏まえた保育や運営が良好に行われており、児童の健全育成に貢献している。
- ②保護者アンケートの「育成室を安心して利用することができている」の設問では、「そう思う・少しそう思う」の回答が合わせて約98%であり非常に高い割合である。
- ③夏休みの活動として、外部講師による英語教室、体操教室など、児童の興味や関心に着目した取組を行っている。また、独自でそろばん学習を取り入れるなど、児童の学習活動への工夫が見られる。
- ④保護者との連絡ツールとして保護者連絡アプリだけではなく、連絡帳も引き続き併用しており、保護者との連携や関係づくりに努めている。また、班活動などにも新たに取組み、子どもの主体性を引き出すことや子ども同士の関係づくりにも力を入れている。